

平成28年 第12回大田市教育委員会定例会

日時 平成28年12月21日(水) 午後2時
場所 大田市教育委員会事務局

1. 開 会

2. 前回の会議録の承認について

3. 経過報告

4. 議 題

議第26号 学校再編実施計画について

(総務課)

議第27号 教職員の人事異動方針について 【非公開】

(教育長)

5. その他

○報告

・平成29年成人式について

(社会教育課)

・生徒指導に係る報告 【非公開】

(学校教育室)

6. 閉 会

平成28年第12回大田市教育委員会定例会会議録

平成28年12月21日午後2時、大田市教育委員会事務局において、第12回大田市教育委員会定例会を開催した。

1. 開会及び閉会

開 会 平成28年12月21日 午後2時00分

閉 会 平成28年12月21日 午後3時10分

2. 出席委員の氏名

教育長 大國晴雄

委 員 竹下ちとせ 仲野義文 梶 伸光 梅枝奈保美 福間信隆

3. 欠席委員の氏名

なし

4. 傍聴人

なし

5. 委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

田中教育部長 川崎総務課長 橘学校教育室長 渡邊学校給食センター長

西村山村留学センター長 遠藤石見银山課長 藤井社会教育係長

岩谷男女共同参画係長 木村総務管理係長

6. 開 会

大國教育長開会を告げ開会

(1) 前回の会議録について

教 育 長 前回の会議録について、いかかでしょうか。

仲野委員 すみません。8頁の上から14行目、私の発言の「来年入ってくる1年生に」のところを「来年入学する1年生に」と、同じページの下から8行目の「大田市の教育委員会」とあるのを「大田市教育委員会」と訂正をお願いします。

教 育 長 その他、ありませんか。

梅枝委員 すみません。7頁の12行目、「効果があるのかということ」のところを、「効果があるのかと感じ」と訂正をお願いします。

竹下委員 私もですが、同じく7頁の上から6行目、「最大5名までの支援の方がいらっしゃる」とあるのを「最大5名までの人員が配置される」と訂正をお願いします。

教 育 長 それでは、先程の部分を訂正のうえ承認するものいたします。

(2) 教育長の報告について

教 育 長 では、経過報告に入ります。先月は11月25日に定例教育委員会を開催していますので、それ以降につきまして報告させていただきます。26日、銀山遺跡の現地説明会を開催しています。28日現在スポーツ推進計画を策定中ではありますが、スポーツ推進計画の改定版に向けて審議会を開催しています。29日、仲野委員さんが新たな任期ということで、市長より教育委員の辞令を交付されました。同日から、本年度末の教職員の人事異動に関しまして、私の方で校長面接を始めています。同日中学生の職場体験学習の報告会を開催しました。なお職場体験については、広報おおだ1月号の特集で、報告をさせていただくことにしています。12月4日難波利三ふるさと文芸賞の授賞式、同日人権推進課のふれあいフェスティバルが開催されました。今年も素晴らしい作品があり、特に小学生、中学生の作品が非常に優れた作品だと、高く評価をいただきました。5日から市議会の12月議会が開会されました。19日まで議会が開会されました。今回は教育委員会関係でたくさんご質問をいただきました。議事録等で読み取っていただければと思います。10日中国地区ユネスコ協会の大会が開催されました。島根県には、島根

県のユネスコ協会、出雲地区のユネスコ協会、石見地区のユネスコ協会があります。石見地区のユネスコ協会の会長は温泉津の内藤さんです。今回、石見地区の担当ということで、大森の町並み交流センターあるいは温泉津の現地視察や、私も少し発表させていただきました。12日浜田教育事務所長と私も同席して、校長の人事異動の面接を行っています。16日までそれぞれ分けて、各校長先生方から人事異動の異動希望者の状況や、学校として来年度に向けてこういった人材が欲しいというようなことを面接して聞き取りをしています。14日県の教育委員会では、大田市に県から派遣していただいております、あるいは県から割愛という形でお借りしております、学校教育室長と派遣指導主事に関する人事のヒアリングを受けています。19日議会が終わりまして、本日の定例教育委員会ということであります。では報告については以上です。ご質問等あればお願いします。

委員 (なし)

教育長 それでは、以上で経過報告は終わります。

(3) 議題

教育長 では、議題に入ります前に、議第27号教職員の人事異動方針についてと報告事項の生徒指導に係る報告については非公開とし、後で関係者のみで審議したいと思いますと思いますが、よろしいですか。

委員 はい。

教育長 それでは、議題に入ります。議第26号学校再編実施計画についてです。担当課は総務課ですが、以前から関わっておりますので私の方から概要について説明します。事前に大田市学校再編実施計画をお送りしていると思います。これをご覧いただきたいと思います。現在の大田市学校再編に関する計画は、平成20年の7月に策定した計画です。詳細については、お読み取りいただいたと思いますが、学校再編の基本計画をつくり、その後実施計画をまとめました。全体については少しページがありますので、大まかなところをご説明したいと思います。ページをめくっていただくと目次があります。目次をみていただきますと計画策定の趣旨から市立中学校の再編・統合計画、実施スケジュール、再編・統合に伴う諸課題、市立幼稚園についての項目を掲げています。附編資料として、空き校舎の活用とこれまでの取り組みの経過をお示ししています。計画策定の

趣旨については、お読み取りいただくということでお願ひします。再編実施計画の検討委員会は、市内の様々な方にお集まりいただき、委員長は山下政俊島根大学教育学部教授にお願ひをして、この計画をつくりました。以降しばらく現状等が書いてありますので割愛させていただきます。7頁をご覧ください。学校再編の基本計画による基本的な考え方とはどういうことかということですが、小学校については、一点目、複式学級編制の小学校については早期に複式解消を図る、二点目、小学校1学年複数学級を目標とするが、全年単式学級の小学校については、1学年の児童数が少なくとも15人、可能であれば25人程度の規模の確保を目指すということにしております。中学校については、中学校は6学級1学年2学級を目標とする、これが基本的な考え方です。その下に少し具体的な事項について掲載しています。①学校と地域活動との相互の関係、小学校と中学校の連続した教育を勘案し、新たな校区調整・変更は行わないと再編実施計画で決めています。②再編・統合の実施にあたっては、小規模化の著しい学校について早期に着手する、こういった項目を掲げて取り組んでいます。次に9頁の(3)再編・統合の枠組みということで、小学校については複式学級の学校がこの時点で11校ありました。既に統合した学校等についてはご存知かと思ひますので、説明は割愛させていただきます。続いて今後複式学級となる学校を掲げています。その下に現状のままとする学校を掲げています。10頁以降は再編・統合の組み合わせで、既に平成28年度までのところを予測して統合の組み合わせを組んでいます。この件につきましては具体的な説明は割愛させていただきます。次に14頁、実施計画に基づく再編後の姿です。平成20年の7月のところで枠組みを考えています。こいつた枠組みで統合を進めるということで、この時点での姿としては、小学校22校、中学校8校あったものが、小学校10校、中学校3校というのが再編後の枠組みです。現状を申し上げますと小学校16校、中学校6校となっています。以上で平成20年7月に策定しました再編実施計画の説明を終わります。この説明について質問等ありますか。

委員 (なし)

教育長 続いて今日お配りした資料で、学校再編実施計画の進捗状況という表があると思ひますが、それをご覧ください、進捗状況について説明したいと思ひます。川崎課長お願ひします。

川崎課長 学校再編実施計画の進捗状況につきまして、未統合の枠組みの資料をお配りしております。まず、上から川合小と久屋小につきましては、久屋小ですでに今年度から複式学級となっており、平成33年度まで、複式学級が続く見込みです。五十猛小、静間小と鳥井小の3校統合では、静間小学校のみが6学級で推移する見込みですが、五十猛、鳥井小では複式学級が見込まれます。北三瓶小、志学小と池田小の3校の枠組みでは、すべての小学校で複式学級が見込まれ、平成32年度以降はすべて3学級となる見込みです。大森小と高山小、大代小の3校統合では、大森小が未統合となっており、両学校とも複式学級となる見込みです。3頁目の中学校の方ですが、北三瓶中、志学中、池田中の第一中学校への統合では、池田中のみが統合となり、北三瓶中、志学中が単独で存続しています。北三瓶中、志学中ではそれぞれ8人から14、5人で推移する見込みとなっています。また、三中、温泉津中、仁摩中の3校統合では、温泉津中と仁摩中の統合により大田西中となりましたが、第三中が単独で存続しています。大田西中はほぼ各学年2クラスで推移する見込みですが、三中では各学年9人から10人程度で推移する見込みとなっています。概要につきましては、以上でございます。

教育長 以上が学校再編実施計画について、平成20年7月に定めたものの説明及び現状で実施計画の中で、未統合の枠組みについての現状を資料によってお示ししています。先ほどの実施計画の枠組みと現状を踏まえて、各委員から学校再編に関する基本的な考え方について、ご意見をいただきたいと思います。これまでの経過の中では学校再編実施計画に基づいて進めるということですが、28年度をもって実施計画の計画年度を終了します。今後どうするかということについて本日すべて結論ということではなく、実施計画を定めてから時間が経過していますので、それぞれの各学校の状況をご覧になり、あるいは地域の様々な状況をご覧いただいて、この後の進め方についてご意見をいただきたいと思います。竹下委員さんからお願いします。

竹下委員 私は複式学級を早期に解消するというのを、1番に考えていく必要があると思います。18年度の基本計画では、小学校は1学年の児童が少なくとも15人となると、全校生徒数が90人になります。中学校もほぼ90人です。その辺りの基準は念頭に置きながら、実態としてはそれよりも少ない人数の学校が多いので、全校生徒数

の最少の基準を下げていき、どの辺りまで基準を下げてても教育の質を落とさずやっつけていけるかを再検討することが必要ではないかと思えます。それから例えば三中や高山小、大森小といったところは、石見銀山との関連を考えて、小中学校で一貫的な教育をすとか、何かそういう特徴的なことがあってもいいかと思えます。

教育長 ありがとうございます。仲野委員さんお願いします。

仲野委員 既に統合した学校が、基本的にこの計画に基づいて行われているということなので、新しく統合する場合もこの考え方は守っていかないといけないと思えます。いきなり方針を大きく転換すると、既に統合した地域の方々が、その計画についてどのように考えられるのかなど、いろいろな問題が出てくるのではないかということをお慮します。従って基本的には統合の実施計画を尊重しながら、現状のいろいろな社会的変化などを考えながら実施していかないといけないと思えます。個々の問題はあるかもしれませんが、統合が結果としてうまくいっているという印象をもっていますので、基本的には統合計画に沿った形で実施するのがいいのかなと思えます。

教育長 ありがとうございます。梶委員さんお願いします。

梶委員 私も、この計画策定の趣旨にのっとって進めていかなければいけないと思えます。子どもたちの教育環境を整えるという意味で、適正な学校規模というものが子どもたちの学習理解をすすめるうえで大事なことだと思えます。各地区の住民の希望を読みますと、それぞれの立場はよく理解できますが、その辺りの趣旨をわかっていただきながら進めていくのが大事だと思えます。

教育長 ありがとうございます。梅枝委員さんお願いします。

梅枝委員 私も、既に統合された学校もあるので急に方向転換すると困るのではないかと思えます。ですが自分たちの地域に学校がなくなっていくという現状は、教育ビジョンの時も地域の力や子どもたちの未来をしきりに考えていたことを思うと、学校が遠くになってしまうというところはとても心配です。ここにある小学校1学年の15人、可能であれば25人は理想的な数字であると思えますが、小さいからできることもあると思っていますし、地域性がこの頃の年代の子どもたちの教育にとっても大事であると思えます。ですから人数が少なくなったから統合という流れは少しひっかかるころがあります。それと学童で困っているお母さんたちがたくさんいらっしゃって、学校が遠くなると帰る家がとても遠くなるので、働きながら子育て

をしておられるお母さんたちは学童保育で連れて行く場所がない、職場からも家からも遠いという話は聞きます。だから自分の家の近くに学校があるということは大事なことではないかと思います。

教育長 ありがとうございます。福間委員さんお願いします。

福間委員 私はずっと複雑な思いを抱きながら学校再編計画について見させてもらっていました。確かに基本計画に準じて進めていかなければならないのは当然だとは思いますが、適正規模とは一体何なのかと思います。大きな学校ではどうしても自分の思いが伝わらず、孤立化していく子どもたちも現実にあります。そうした時に、確かに学校統合は必要なのだけれども、子どもたちが小規模でも救われる道ができるような形態がとれば一番良いと思います。竹下委員さんが言われたように独自性のものがあって、小・中一貫したような、統合されたような学校編制の枠組みがあってもいいのではないかと思います。他がやっているからなどではなく大田の独自のものがあってもいいのではないのでしょうか。大田市はこういうような教育を進めていきたいとその中ではこういった取り組みや協議を持ちながら、この基本計画にのっとったような考え方をもって、独自性のものが出来上がってほしいと思います。

教育長 ありがとうございます。委員さんからご指摘いただいた項目と重複しますが、この後事務局の方でも資料を揃えたり、現地に行ったりして少し具体的な検討に入りたいと思います。どのような組み立てをするのかということも含めて、しばらく作業や検討をする時間が必要ではないかと考えています。小規模校の小・中一貫、中学校の部活動などの課題、学童保育、市街地と周辺地で起きている、校区の境界が曖昧になったところによって出ている課題など、いくつかの課題があると思います。そのような課題を少し整理させていただいて、今後検討を進めさせてもらいたいと考えています。その他に追加がありますか。

福間委員 通学の問題と部活動の問題ですが、確かに部活動は、生徒がたくさんいるのは切磋琢磨するのに良いと思うのですが、一中の部活動を見させてもらうと、冬季の活動する時間がわずか45分くらいしかありません。なぜかと考えたときに、通学の時間、バスの時間帯によって活動時間が限られているということが分かりました。部活動だけでなく、子どもたちが放課後残って学級・生徒会活動・その他の活動をしようとした時の時間も、非常に短くなっているという

実態があります。それが本当に実質上の実のある、自分たちが思うように考えた活動ができる形態になるのかと考えた時には、少しマイナス傾向にあると思います。

教育長 ありがとうございます。引き続き検討するという事でこの件についてはここで終わらせていただきます。

(4) その他

教育長 では、「その他、報告事項」に入ります。平成29年成人式について、社会教育課からお願いします。

藤井係長 それでは、平成29年1月4日に行います成人式の概要について説明します。場所は市民会館大ホールで、該当者は平成8年4月2日から平成9年4月1日までの間に生まれ、大田市に在住または住所を定めたことがある方と山村留学センター長期留学生卒業の方です。該当者数は313名です。例年の出席率が80～85%程度ですので、250名から多くて270名程度になるのではないかと見込んでおります。タイムスケジュールとしましては、10時半からアトラクションで、大屋神楽社中による「大蛇」を行います。11時からは式典を行います。その中で、激励のことは竹腰賢一さんよりいただきます。そして、成人の代表として、決意表明を大羽智之さん、田平悦子さんに、記念品受領者として賀戸亜子さんをお願いをしております。なお、記念品は本日見本を持ってきておりますが、来年の石見銀山遺跡世界遺産登録10周年を記念して作成しましたエコバックです。また、お配りしております式典概要には記載しておりませんが、アトラクション開始前には、世界遺産登録10周年記念事業として来年7月2日行われます「オペラ石見銀山」の紹介DVDの上映を、また、アトラクションから式典へ舞台展開をする際には、大田市の愛唱歌「0854-8」を流す予定となっております。以上です。

教育長 何か質問はございますか。

委員 (なし)

教育長 それでは公開の議題等は終わりましたので、次は関係者のみで審議させていただきますと思います。

【非公開】・議第27号 教職員の人事異動方針について (教育長)
(承認)

・報告事項 生徒指導に係る報告 (学校教育室)

教育長　それでは、議題等は全て終了致しました。来月の教育委員会は1月26日木曜日午後2時からです。よろしくお願いいたします。

7. 閉会

教育長　以上をもちまして、第12回大田市教育委員会定例会を閉会いたします。